

トルコギキョウ切り花の花持ちを良くする栽培・出荷方法

福島県農業総合センター 作物園芸部 花き科
生産環境部 流通加工科

部門名 花きートルコギキョウーその他

担当者 宗方宏之・矢島豊・丹治克男

I 新技術の解説

1 要旨

トルコギキョウの夏切り栽培において、花持ち保証販売に対応するため、夏場の高温条件下における切り花の花持ち日数を延長するための栽培・出荷方法について明らかにした(図1)。

＜栽培管理＞

- (1) 施肥は、基肥としてN成分量で1kg(1a当たり)を基準とする(表1)。
- (2) 育苗方法は、約30日で定植する若苗育苗による栽培が適している(表2、写真1)。
- (3) 生育初期及び発蕾期以降における遮光は、高温対策として30%程度の資材を利用する(表3)。

＜出荷前管理＞

- (4) 出荷前の前処理剤には、前処理剤にはスクロース濃度が4%となるよう調整して使用する(図2)。

2 期待される効果

- (1) トルコギキョウにおける夏切り栽培の切り花品質が向上し、慣行栽培と比べて花持ち日数が延長される。
- (2) 育苗期間が短縮され、育苗にかかる労力が軽減される。
- (3) 花持ち日数が延長されることにより、産地における販売戦略(花持ち保証販売等)につなげることが可能となる。

3 適用範囲

福島県内全域

4 普及上の留意点

- (1) 施肥については、一部の品種において多肥(N成分量で1a当たり2kg)栽培では花持ち日数が短くなったことから、過剰な施肥を避ける。
- (2) 遮光処理は長期間行うと切り花品質が低下する場合があるので留意する。
- (3) 若苗育苗はほ場の条件や生育初期の水分管理に注意する必要がある。
- (4) 上記の栽培・出荷方法における花持ち日数は、それぞれの栽培・出荷方法をとった場合の花持ち日数を明らかにしたものであり、複数を組み合わせた場合に花持ち日数は加算して延長することはない点に留意する。

II 具体的データ等

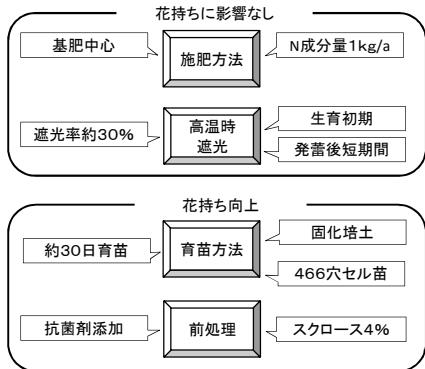


図1 花持ちのよい切り花の栽培・出荷環境

表1 施肥量及び時期の違いによる花持ち日数(30°C 2012年)

N成分量 (kg/a)	基肥	側芽発生期	花持ち日数(日)		
			ビッコローサスナー	キングオブスノー	ボーレホワイト
	1	0	15.2	14.2	15.4
	1	1	16.4	12.1	15.0
	0	2	15.6	14.9	12.4

^z 生け花開始日から生け花開始時の開花数を下回った日までの日数

^x 供試した切り花は4輪が開花、花蕾が4個のものとした

表2 育苗方法の違いによる花持ち日数(30°C 2012年)

育苗方法	花持ち日数(日)		
	マッシュモロホワイト	セレモニーライトビンク	z y
若苗育苗(多孔質培養土) ^w	14.0	12.8	
若苗育苗(成型培養土) ^v	11.8	13.2	
2 8 8 穴セル育苗	11.0	11.8	

^z 生け花開始日から生け花開始時の開花数を下回った日までの日数

^x 供試した切り花は4輪が開花、花蕾が4個のものとした

^w 主原料にポリエチル纖維維を含む固化培土

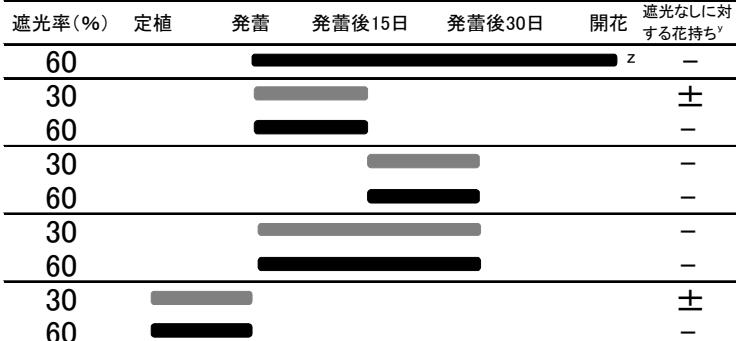
^v 主原料にヒートモスを含む固化培土



写真1 若苗育苗の種類

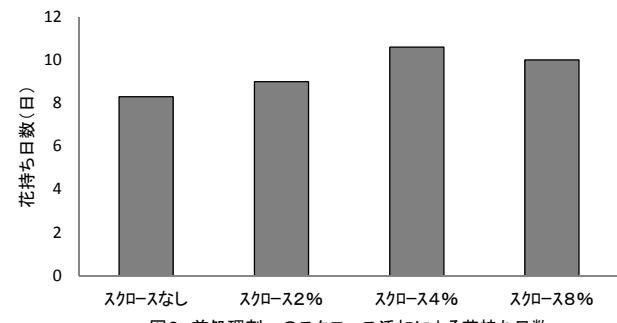
(左:多孔質培養土、右:成型培養土)

表3 遮光処理期間と花持ちの関係(2010~2012年)



^z の長さは遮光処理期間を示す

^y ±:無処理(遮光なし)と同程度の花持ち日数、-:無処理(遮光なし)に対し花持ち日数が短縮



III その他

1 執筆者

宗方 宏之

2 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成22年度～24年度

(2) 研究課題名

花持ち保証に対応した切り花品質管理技術の開発

3 主な参考文献・資料

(1) 平成22年度～24年度センター試験成績概要